

「生活保護 110 番」 NHK で放映 「相談相手が出来てうれしい」



今回は、NHK が取材し、“地域局発”の列島ニュースで全国に報道されたらしく、北海道・東京・京都・鹿児島・大分などからも多くの相談が寄せられました。

相談の多くが「生活保護を利用しているが、物価高で生きていくのに必死。いくら切りつめても食べていけない」などの切実な相談が多く寄せられました。

生活保護の“制度”についての問い合わせも多く、小倉生健会の相談員が携帯電話の番号を知らせ、「いつでも、お気軽に電話してください」と伝えると、「大変心強いです。相談する人が誰もいなかった。心が爆発しそうで、大声で泣きたいが我慢してきた。苦しかった。相談相手が出来てうれしい」と答えていただき、こちらも胸が熱くなりました。

2005（平成 17）年 1 月、八幡東区で一人暮らしの 68 歳の男性が玄関で亡くなっているのが発見されました。男性は左目が見えず、右目の視力も 0.2 で糖尿病を患っていました。生活保護を申請していましたが却下されていました。

その年から北九州市社保協（会長：高木健康弁護士）は、“生活保護 110 番”を二カ月に一回開き続けています。

北九州市の実態の一部

日本共産党北九州市議団の市政懇談会での配布資料集から

2023年	人口：92万2762人
2023年	借金の総額：1,492,873,000,000=1兆4928億7300万円
2023年	高齢化（65歳以上）率：31.2%
2023年	特別養護老人ホーム（特養ホーム）待機者数：2070人
2023年	国民健康保険（国保）証 取り上げ：8,867世帯
2022年	生活保護世帯数：18,166世帯
2021年	不登校児童生徒：小学生416人 中学生1114人
2021年	児童虐待相談対応件数：2363人
2020年	二酸化炭素（CO2）排出量の82%が産業・業務・運輸部門。家庭部門は7%

小倉生健会
生活と健康を守る
一人はみんなのために、みんなは一人のために



えっふん 維新の「大阪は教育無償化を実現した」を考える

義務教育は憲法で“無償”です。給食費の無償化も“運動”で広がっています。一方、国際条約である、中・高等教育への「無償教育の漸進的導入」を日本は30年間も留保していました。

留保していたのは日本とアフリカのマダガスカルだけでしたが、“運動”に押されて2012年に留保を撤回しました。しかし停滞しています。

そんな中、維新が最もアピールしているのが「大阪は教育無償化を実現した」です。

先日、新婦人新聞が、「大阪の私学無償化」について「世帯収入 590 万円未満の所得制限があるため、対象は 46.2%のみ。しかも一旦学費を支払った後に還付される。平均 20 万円の入学費や指定物品購入、修学旅行費用などは全て保護者負担」と報じました。

更に「少人数学級に背を向け、特別支援学校は全国一の過密。府立高校は3年連続定員割れになれば廃校に」。「2020年度の国の調査では、

中学生の暴力件数が生徒数あたりで全国平均の1.8倍、不登校の高校生は1.7倍」にのぼっています。

「小中学生ではテストの結果を学校別に公表。内申書へも反映させる。テストの結果で教員が評価され、子どもたちや先生を競争と序列化に追い込む施策を次々に導入」して「分断と対立を持ち込み、教育の分野にまで“市場原理”を導入し、維新府政で最も破壊されてきたのが教育分野」と報じています。

大阪の教育関係者も「国が全国一律の事業としてやっていることを、さも大阪だけが実現できたと言っている」との報道や、「私学側の負担が現在の約9億5千万円から約17億円に増える」ため、私学側も反発しているとも報道されています。

維新政治は分かりやすいと言われがちですが、事実をしっかりと見る目を養いたいものです。

全生連 全国活動交流会に参加し決意新た

全生連（全国生活と健康を守る会連合会）の「第44期全国活動交流会」が2日間にわたり開催されました。

小倉生健会もネットで参加し、同じ思いで奮闘されている全国の皆さんの活動を直接聞かせていただきました。

生活に困窮した方からの切実な相談に親身に対応する活動や、行政に対する取り組みの中で、会員を増やし奮闘している姿が全国で展開されて



いました。

エアコン設置での運動など貴重なアドバイスもいただき小倉でも生かしていきたいと思えます。

《小倉生活と健康を守る会主催》

生活保護制度学習会

- 「生活保護制度を利用中の方」
- 「生活保護制度の利用を検討中の方」
- 「生活保護制度について知りたい方」



意外と知られていない制度の中身について
ご一緒に、学んでみませんか

- 日 時…11月6日(月)・14時～
- 場 所…パークサイド・グレッジけんわ大手町
2階・地域交流センター 3
(小倉北区大手町14-22・裏面に地図あり)
- 参加費…無料

お問い合わせはお気軽に
八記・090-1361-0876/飯田・093-562-3966

